



公益財団法人 林精神医学研究所
 附属林道倫精神科神経科病院
 〒703-8520
 岡山市中区浜472番地
 TEL 086-272-8811
 FAX 086-273-9944
 Mail hama472@po.harenet.ne.jp
 ホームページ
<http://www.hayashi-dorin.or.jp/>



病院理念

その人らしく生きられるように
 共に支えあいます

基本方針

1. 「心の病」の予防、治療、リハビリに取り組みます。
2. 人権を尊重し、安全・安楽・信頼の医療に努めます。
3. 地域と連携し、誰でも安心して暮らせる地域づくりに努めます。

アルコール依存症からの回復 ロールアート展示会を開催



職員と製作した当事者が
 来場者の対応をしました



製作を体験できるワーク
 ショップも好評でした

会場に展示した
 掲示物(一部)
 ARPの紹介(上)
 デイクアの紹介(下)



当院には、アルコール依存症治療専門病棟があり、ARP(アルコールリハビリテーションプログラム)、認知行動療法などを積極的に行っています。入院治療だけでなく、外来治療・地域での支援で回復に向けたサポートも行っています。アルコールデイクアでは、日中活動で酒を飲まない生活を支援しています。そのプログラムの一環で、紙などをくるくる巻いたパーツ(ロール)を組み合わせて作る装飾「ロールアート」の製作を行っています。院内には、思わず足を止めて眺めてしまう大作が展示されています。もっと多くの方の目に触れてほしいという声を受けて、天神山文化プラザを借りての展示会の実施に至りました。作品の展示だけでなく、アルコール依存症の啓発活動として、職員によるARPや治療方法の紹介なども行いました。6日間という短い期間でしたが、多数の来場がありました。今後も様々な形でアルコール依存症について知っていただける機会を作りたいと考えています。

運営に携わった当事者の方より

コロナ禍に入り、作業療法として取り組んでいた箱折り作業がなくなり、本格的にロールアートに取り組むようになりました。アルコール依存症という病気は完治はありませんが、断酒を継続することによって健常者に近い回復はあります。メンバーが春夏秋冬に作成した色とりどりの作品は、酒を止め続けて一人ひとりが真剣に取り組んだ賜物です。初めての試みでしたが、大勢の方にご来場頂き有難うございました。



当院はお金のあるなしにかかわらず
安心して受診していただける**病院**です



●無料・低額診療事業を実施しています ●差額ベッド代は頂いておりません

林病院は、患者さんの受療権を守る取り組みとして、無料・低額診療事業(無低診)を実施しています。無低診を適用されまると、当院の医療費が無料または低額になります。経済的な理由で医療費の支払いが難しい方、お気軽に相談室または受付までご相談ください。適用にならない場合でも解決策を一緒に考えていきます。また、「命は平等である」との考え方から、差額ベッド代も頂いておりません。



医療従事者を目指す夢を応援!



高校生医療体験

毎年夏休みと春休みの時期に合わせて、高校生に向けた医療体験を開催しています。この夏は、医師・看護師・薬剤師・心理士・作業療法士・ケースワーカーの6つの体験に計36名が参加してくれました。

医師体験では、医師が患者役となり「不眠症の診断と治療をしてみよう!」というデモンストレーションを行いました。実際に機器を触ってエコー検査の体験もしてもらい、楽しみながら医師の仕事に触れていただきました。

心理士体験では、心理士の資格“臨床心理士”と“公認心理師”はどちらも取ったほうがいいのか? カウンセリングで話を聞いて自分がしんどい気持ちになることはないのか? などの高校生から寄せられた質問に答えたり、簡易的な心理検査の体験を行いました。「インターネットで調べても出てこないような話をたくさん聞けて、心理士への興味が増した」と感想がありました。

今回の体験が参加してくださった方達の進路選択のお役に立てたら嬉しく思います。今後も医療の仕事の魅力や、精神科のことを知ってもらえる企画を行っていききたいと思います。



エコーで腎臓を探しています



作業療法体験では作業体験として紙ヒコーキを作成しました



看護師体験。ナース服を着て記念撮影



薬剤師体験では軟膏と散剤の調剤に挑戦!



心理士体験は、閉会後も熱心に質問に来る方が多数いました



暑い中
来てよかったな
医療体験

変わったよ
仕事の視点
薬剤師

なってみたい
心を支える
心理士に

参加者に、体験の感想を
川柳にしてみました。

医療体験川柳





精神科セミナーを開催

4名の医学生が参加



例年早々に募集定員に達する当院の人気企画「精神科セミナー」を本年も開催いたしました。本セミナーは、精神医療に関心のある医学生および初期研修医を対象としており、今回は岡山県出身、または実家が岡山県にあり、岡山県民医連で奨学金を受けている「ゆかりのある」医学生4名が参加しました。

1日目は、診察陪席、心理講義と心理検査、病院見学、フィールドワーク、院長講義まで4名が参加しました。その後1名が帰京され、残る3名が医師研修委員会と有志交流会に参加しました。2日目は引き続き3名の参加のもと、林病院地域医療についての講義、デイケア見学、就労支援事業所訪問、「四葉の会」への参加を行いました。最後に2日間の振り返りを行い、各自が学んだことや印象に残ったことをまとめ、発表しました。

参加者のまとめや感想文からは、精神科に対する具体的なイメージを持てたこと、地域医療の重要性、そして患者さんの生活背景を考慮しながらチームで支えていくことの大切さを学んだ様子がうかがえました。

また、図らずも岡山県連奨学生同士の交流の場となり、非常に充実したセミナーとなったと考えています。ご協力いただきました関係部署及び関係事業所の皆様ありがとうございました。



箱庭療法を体験しました



訪問に同行する前に、グループホームについてレクチャー



林院長と記念撮影



学んだことや感じたことを模造紙を使ってまとめました



最後は発表！おつかれさまでした



プログラム

【1日目】

- ・外来診察陪席、心理士による講義（心理検査など）
- ・グループホーム訪問、訪問看護同行
- ・林院長の講義「回復のカギは地域にあり」
- ・医局カンファレンスに参加
- ・懇親会

【2日目】

- ・講義「林病院の地域医療・地域生活サポートについて」
- ・デイケア参加
- ・社会福祉法人訪問
- ・デイケア心理プログラム「四葉の会」に参加
- ・参加者による「セミナーのまとめ」の発表



当事者と 共に学び 成長する



精神科研修交流集会
in岡山



当事者の方と参加者で記念撮影

7月11日(土)～12日(日)、当院が加盟する全日本民医連主催「精神科研修交流集会」が開催されました。20回目の開催となる今回は、当院が会場となり全国から66名の参加者が集まりました。この集会は、精神科で研修をしている専攻医が、横のつながりをつくり学び合うこと・指導医や上級医と交流しながら研修や精神科医療をよりよく発展させていくことを目的としています。

当院は、開催地として1日目のメイン企画の企画・運営を担当しました。

当院では、職員研修に通院中の当事者の方をシンポジストとしてお招きし、自身の体験を語っていただくプログラムを行っています。日常の関わりの中ではなかなか聴くことのできない、当事者のこれまでの人生、初めて精神科病院に入院したときの気持ちなどを語っていただく時間は、職員にとって価値ある貴重なものになっています。また、当事者にとっても、多数の人に自分の人生を語り評価されることで、自己肯定感の向上に繋がり自信が持てるようになるなど、双方にとって良いものとなっています。今回も、集会の企画として当事者3名に登壇していただき、体験を語っていただきました。うつ病の当事者の方は、体験発表の前は何日も前から生活リズムを整えて来てくださっています。3名のお話を聴いて涙を流す参加者もみられました。参加した専攻医からは「時間をかけて当事者の人生を聴くという貴重な場に参加できて、これからの臨床の励みになった」「研修では急性期を診ているので、回復し自分らしさを取り戻していく過程をみる経験が少なく、実際に質問しながら話を聞くことができてよかった」など感想があり、学びの多い時間となりました。

当事者と共に学び成長する双方向の関係を大切にしながら、取り組みを前進させていきたいと思います。

診察のご案内

入院対応

入院のご相談は、地域連携室へご連絡ください。
夜間・休日にも対応しています。
☎086-272-8811

外来通院

外来通院のご相談は「林病院けやき外来」へ
ご連絡ください。
9:00～17:00 月曜日～金曜日
9:00～12:30 土曜日
☎086-272-8570

デイケア・ナイトケア

9:00～20:00 月曜日～土曜日

重度認知症患者デイケア(わたぼうし)

9:30～15:30 月曜日～土曜日



当院へのアクセス



- JR西川原駅より 徒歩13分
- JR岡山駅より
岡電バス：藤原団地行「宇野団地入口」下車西へ徒歩2分
宇野バス：高島団地・雄町・東岡山行「林病院前」下車 西へ徒歩2分

